

令和2年度有田川町少年少女発明クラブ 第11回目の活動の様子（3月27日）

いよいよ今年度ラストの発明クラブです。今回は「ふしぎ！ 数理ゲームの世界」。まずは「バイナリーゲーム」をやります。相手が考えた数字を「ある」「ない」と質問応答してその数字を当てるゲームです。



試しに一人のクラブ員に任意の数字を書いてもらって、先生にはその数字を見せず、他のみんなには見せません。

先生 「このカードの中に思い浮かべた数字、ある？」

クラブ員1 「ないです/あります」 …このやりとりを繰り返すこと数回…

先生 「きみの考えた数字は●●やね？」

クラブ員1 「…そう…です…(°Д°)ポカーン」

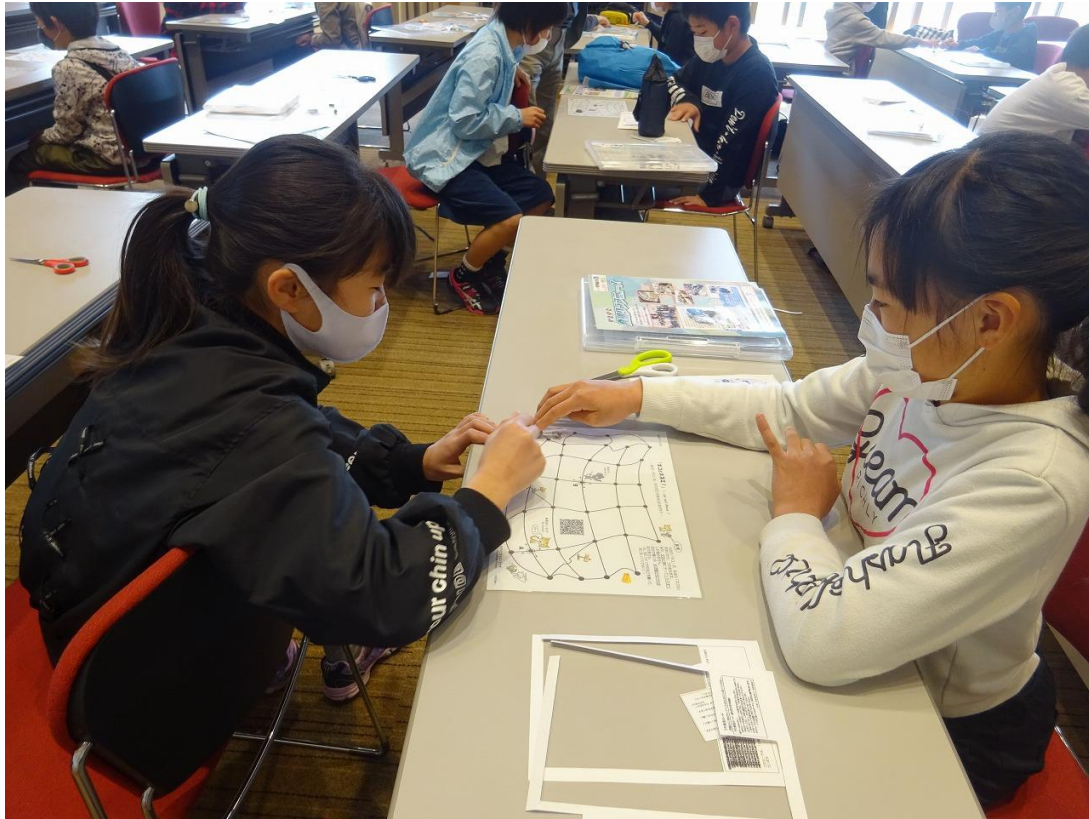
みんな 「えええええ！？なんで～！？」 （もう一度別のクラブ員にやってもらいましたが、先生はバッチリあてました。）

じゃあみんなもバイナリーカードを作って、自分たちでもやってみよう。
みんな、数字当ての名探偵になっていました♪

他にも別の数理ゲームをしてみます。
こういったゲームの理論は、例えばQRコードやバーコードなどにも活用されているそうです。



他にも、普通にしていると絶対に追いつけない交互にコマを進めるボードゲームをしたり。
(ボードのとある一カ所に気づくと追いつけます。)



最後は修了式。一人ずつ、会長から修了証をもらいます。



工作、プログラミング、見学研修、実験…各回様々な皆様のご協力のおかげで、無事開催することができました。皆様、誠にありがとうございました。また、発明クラブがみんなにとって有意義な時間となったなら幸いです。みんな、一年間、よくがんばりました！＼(^o^)／ありがとう！